

エアゾール缶、カセットボンベ等は、 中身を使い切ってから捨てましょう！！

エアゾール缶やカセットボンベの中身を残したまま捨てたため、ゴミ収集車が燃える**火災**が起っています。



ゴミ収集車の荷台内でエアゾール缶やカセットボンベが圧縮され、中身のガスが漏れ出し、金属同士の接触によって散った火花が引火し、ゴミと車両の一部が燃えた火災です。

燃えたゴミの中から多数のエアゾール缶やカセットボンベが見つかりました。



穴を開ける場合には、十分に気をつけましょう!!

中身の残ったエアゾール缶及びカセットボンベに穴を開けていて火災となった事例も起こっています。



火の気のある、風通しの悪い場所で、アイスピック等により穴を開けていて、噴出したガスに火(ガスコンロの火、煙草の火)が引火し、火災になる恐れがあります。

※必ず中身のガスを使いきり、火の気のない、風通しのよい場所で穴を開けて捨てるようにしてください。

又、メーカーによっては、穴を開けなくてもガス抜きができるものもありますので、ガス抜きのできるエアゾール缶については、記載されている使用説明書をよくお読みになって排出してください。

※ 中身の有無を確認しましょう

チエック

- ・振って中の音を聞いてください。
- ・中身のガスが残っていると「シャカシャカ」音がします。